



「構造改革」

理事長
五十嵐 秀 夫

組合員・賛助会員（以下、組合員等）及び提携企業の幹部社員・営業職員の皆様新年明けましておめでとうございます。

昨年は3月11日の東日本大震災に伴う大津波、7月末の新潟・福島大水害、9月初旬の台風12号に伴う紀伊半島の大水害と水にかかわる災害が頻発した年で、改めて自然の脅威を思い知らされた1年でした。さらに、大震災に伴って発生した福島原発の放射能漏れ事故では多くの方々が避難を余儀なくされ、帰宅するには放射能の除染等問題山積の状況となっております。

また、国外においてはギリシャの債務問題に端を発するユーロ危機が、世界的な金融収縮を起こし始めております。日銀総裁は欧州全域に広がりつつある政府債務危機は日本経済にとって「最大のリスク要因」と述べており、昨年後半からの円高・株安と日本経済は極めて不安定な状態となっております。平成24年の日本経済は不透明な状況下でのスタートと言えらると思えます。

大変厳しい経済環境の中、新潟県税協の組合活動が順調に推移することができましたことは、役員をはじめ組合員等皆様のご理解・ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

◎ 事業の推移

1 全税共

全税共第26回VIP・年金全国統一キャン

ペーン（23年9月～11月）の優績者の入賞者数は97人（前年149人）と大幅な減少となりましたが、収納保険料は平成23年4月から10月までの期間で前年対比105%と堅調に推移しております。内訳は営業職員部門が同期前年対比で100%と横ばいで、税理士代理店部門は同120%と著しく伸展しました。

提携生命保険会社の支社長・幹部職員及び営業職員の皆様並びに代理店組合員のご支援ご協力に感謝申し上げます。

2 総合事業保障プラン（大同生命）

第1次（23年4月～7月）及び第2次（23年9月～12月）キャンペーンを実施した結果、営業職員及び税理士代理店部門いずれも好調で、平成23年11月で残り4ヶ月以上を残して今年度の目標117億円を突破しました。目標に対する達成率は関信越6県の税協内でトップとなっております。平成23年4月から11月までの事務手数料収入は前年対比111%（前年同期間は109%）と引続き大幅な増収となっており、ここ7年間で3倍近くの収入金額となり新潟県税協の収益の柱に成長しました。

3 あんしん財団

平成23年度新規加入者目標500名に対し11月30日現在241名とゆるやかに推移しておりますが、前年度1年間の実績（22年4月1日～7月17日募集停止）185名を既に超過し、回復傾向

にあるといえます。あんしん財団の制度は、災害補償共済事業（死亡 2,000万円・入院 6,000円）災害防止事業（備品購入の助成）福利厚生事業（人間ドック・ゴルフ等の助成）の3事業を一体に実施している制度で、年齢に関係なく月額2,000円の会費と安価でもあり、組合員及び事務所職員並びに関与先に加入の勧奨をお願いします。

4 教育・情報部門

平成23年度も「確定申告の手引き」の配付を3出版社の選択制とし、申込がありました組合員等は323名となっております。（申込のない場合清文社）また、組合員等事務所の図書経費負担の補填として平成23年度も5千円を限度に「希望書籍の無償配付」を実施しました。

研修は県連と研修テーマが重ならないように連携を図っており、平成23年4月の岩下先生、10月の齋藤先生の研修会を実施し、更に7月に新潟と長岡で参加者10人未満の少人数で組合員事務所経営のサポートをテーマとしたコミュニケーションスキル研修を実施しました。また、23年9月から開始した事務所職員を対象とした3回シリーズの「資産税中級講座」には134名の方が受講しました。

新潟県税協は「税協の研修会費は高い」という意見に耳を傾け、他の事業部門の利益を積極的に研修費に予算投入し、廉価・高品質・タイムリーな研修に力を注ぎたいと考えておりますので、ご意見・ご要望がありましたら事務局に連絡お願いいたします。

5 福利厚生部門

小規模企業共済・倒産防止共済は引続き堅調で、特に小規模企業共済は平成23年1月から個人事業主の「共同経営者」2人まで加入可能となりましたので23年4月～11月の新規加入者数

は73名（前年同期間45名）と大幅増となっております。また倒産防止共済の新規加入件数も上記同期間で39件（前年同期間32件）と増加しております。同共済は23年10月から掛金月額の上限額が8万円→20万円、掛金の積立上限額320万円→800万円と大幅増額改正となりましたので、関与先への周知をお願いします。

両共済は平成18年度に業務受託を開始しましたが組合員等の皆様のご協力での5年間において著しく伸展し、23年度の業務受託手数料は300万円を超えることが予想され、手数料収入としては全税共・大同生命の保険事業に次ぐ事業に成長しました。

◎ 結びに

新潟県税協は多くの事業を扱って収益の確保を図っておりますが、時代の変化に対応して税協の収益構造及び事業構造も大きく変化しております。以前は全税共事業（営業職員部門）が中心で全収入の60%以上を占めておりましたが、現在は25%に低下し、全税共（税理士代理店部門）及び大同生命の収入が40%以上となり、現在も増加傾向にあります。また、研修に注力し、新たに始めた小規模・倒産防止共済の業務受託も組合員に認知を受け、大きく成長しました。今後も新しい事業を始めるときは組合員等にとって「有用か否か」を判断基準にして取り組んでいきたいと考えております。

平成24年が組合員及び賛助会員の皆様にとって最良の年となることを祈念して、新年の挨拶といたします。

新潟県税理士協同組合主催麻雀大会

専務理事 角谷 潔

平成23年11月12日（土）新潟市の「湖畔」において新潟県税理士協同組合主催の麻雀大会が行われました。参加者は38名で昨年より1卓多い9卓に分かれて午後1時より戦いが始まりました。この大会は昨年4年ぶりに開催したところ好評を博し、引き続き行うこととなりました。最近では麻雀をする機会が減り各雀士楽しみにしている様子。ルールは組み合わせを替えての半チャン3回（1時間制限）の総得点に応じて順位が決まる方式。注目は三条地域の藤本氏の3連覇なるかというところ、結果はAIGスター生命の曾根氏が優勝となりました。組合

員等では片山協同組合副理事長が3位、池県連会長が4位と手堅いところでまとめられました。その後の懇親会において各表彰が五十嵐理事長より行われ、和気あいあいの中で来年の雪辱戦を誓うところとなりました。

1位	曾根宏之（スター生命）	88,000点
2位	広瀬由明（あんしん財団）	67,000点
3位	片山和郎（三条地域）	63,000点
4位	池 淳一（新潟地域）	62,000点
5位	藤本準一（三条地域）	61,000点

税協麻雀大会に参加して

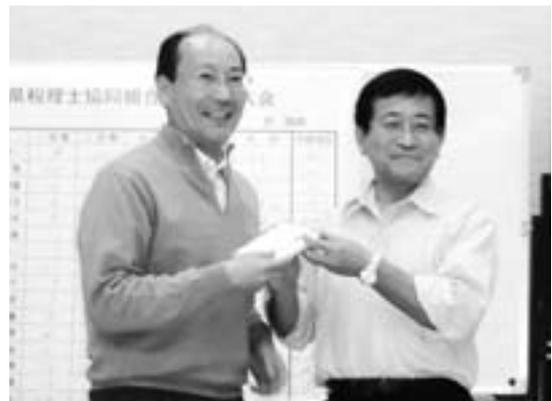
AIGスター生命 曾根 宏之

この度、税協麻雀大会に参加させていただきまして大変ありがとうございました。お世話役をしていただいた皆様そして組合員の皆様に改めて感謝申し上げたいと思います。

今回参加させていただききっかけは野島支社長より一緒に参加しませんかの一言から気軽な気持ちでエントリーさせていただきました。

11月12日鳥屋野潟「湖畔」において県税協主催の親善麻雀大会が開催されました。

当日は組合員の先生方を始め大勢の腕自慢の皆様が何と38名参加の元に開催されました。大勢の参加者が集う組合員皆様の団結力に関心致しました。多くの参加者の中で気楽な気分から徐々に緊張感を帯びてきたのを感じました。いよいよ大会がスタート。あちらこちらで元気のある遣り取りが聞こえてきました。その勢いに乗じて第一回戦がスタートするとカンをすれば裏ドラ、フリテンすれば積もと遣ること為すこ



と良い方向に進む一方で第1回戦はトップを取ることができました。その勢いを借りて第2回戦では満貫、跳万の連発で都合7回の満貫賞を獲得し自分自身ビックリする位の勢いで断然トップで終了しました。しかし良い事は続きません。最終3回戦はさすがに猛者揃いのメンバーでしたので1,300点を1回挙がるのがやっとでかろうじて逃げ切ることができたという次

第です。大会終了後は情報交換会を通じて大変勉強になるお話を聞かせていただきました。本当に楽しく過ごし充実なる1日でした。

全税共キャンペーンも最終月となりますが優勝したからには是非とも入賞者を増やしたいと固く決意している所存です。本当にありがとうございました。

地域長を経験して

高田地域長 山田 康人

私が税理士協同組合と関わりを持つようになったのは、大同生命さんの代理店になったのがきっかけでした。その後年一回の総代会に出席するだけでいいからと言われるままに総代になり、いつの間にか業務推進委員になり、平成23年度から高田地域長になりました。前地域長の横田さん（現広報担当常務理事）からの引継の際には過去の高田地域の活動の資料等を頂き、まだ地域長になって半年余りですが、地域の活動の際にはそれが大変役立っています。ありがとうございます。

地域長になって最初の仕事は通常総代会に高田地域の総代の皆さんを引率することでした。これは楽勝？

次の仕事は高田地域の総代候補者7名と業務推進委員2名を選出することでした。業務推進委員は次の地域長になってくれそうな方をお願いしなければなりません。総代候補者は支部長や先輩方の意見を参考にして推薦させて頂きました。総代や業務推進委員を心良く引き受けてくれた皆様に感謝申し上げます。

でも、ん～人事って難しい。

さて地域の最大の行事といえば、秋の全税共キャンペーンに向けた生保との協議会です。今

年からは高田地域業務推進協議会とし、間口を広くして全税共関係の生保さんはもちろん協同組合に関与する他の生保さん等にも情報交換の場としてご参加をお願い致しました。お陰様で生保様からは21名、組合からは役員を含め18名の出席を頂き盛大に業務推進会議と懇親会を開催することが出来ました。正直、出席者が少なかつたらどうしようかとドキドキでした。高田地域は支部の健康ウォークと共催という形をとっています。会場設定等は支部の福祉共済部長さんをお願いしていますので助かります。私が考える事と言えば、業務推進協議会の次第。懇親会の席順・挨拶や万歳は誰になど。

今回の高田地域業務推進協議会では、生保各社にパンフレット等を組合員に配布してもらい協議会でアピールして頂きました。以前には無かったことですが、これは良かったなと思っています。

地域長の仕事って何かって考えた時に、私は高田地域の方々に協同組合の存在意義を今以上に理解して頂いて、協同組合の活動に少しでも多くの方々にご協力頂く事だと思っています。その為には微力ながらも2年間地域長として頑張りたいと思います。